



企画展「忘れられた維新 静かな明治」について

1 会 期 平成 30 年 10 月 13 日(土)～12 月 24 日(祝・月)

2 会 場 松戸市戸定歴史館展示室

3 趣 旨

今から 150 年前、最後の将軍・徳川慶喜の弟・昭武はパリにいた。彼は、次期将軍候補として万博を舞台に華麗なる宮廷外交を行った。幕府の威信を示すことにより、兄の外交政策を進めるためである。ところが、維新の変革により事態は一変する。彼を巡る旧幕府、新政府、ヨーロッパ諸国の動きは、国外におけるもう一つの維新とも言えるだろう。

明治元年、混迷の続く日本に帰国した昭武は新たな道を歩んだ。権力の座を去り、作庭、写真、作陶などに打ち込み、国指定文化財 2 件など、多くの文化財を残した。

明治維新は国内における権力闘争として語られることが多く、勝者による総括で、敗者の足跡は余り語られてこなかった。本展では、幻の将軍となった徳川昭武の足跡を追うことで、忘れられた維新と彼のその後の歩みにスポットライトを当てたい。

4 構 成

第 1 章	プリンスの覚悟	—パリへの旅立ち—
第 2 章	もうひとつの維新	—為政者としての昭武—
第 3 章	見出した夢	—文化財を創る—
エピローグ	徳川昭武と慶喜	—兄弟の絆—

5 主な出品資料

渡欧に際して徳川昭武が着用した陣羽織、直垂や彼の自筆日記、書、古写真などのパリ万博関係資料、戸定邸伝来品などの他、別紙新収蔵資料なども展示。

6 入館料 歴史館・戸定邸共通入館券 一般 320 円 (250 円)、高校生・大学生



160 円 (120 円) * ()内は 20 名以上の団体料金

7 入館時間 午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分 (午後 5 時閉館)

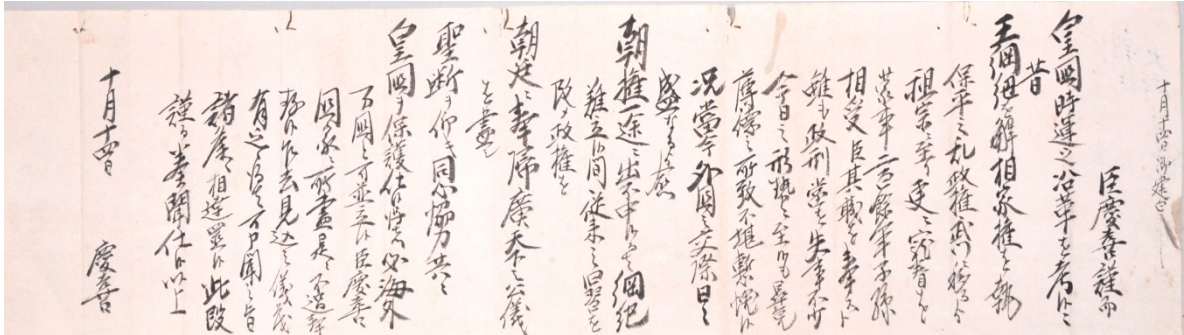
8 休館日 月曜日 (休日の場合は開館し、その翌日閉館)

【問い合わせ先】

生涯学習部 戸定歴史館

☎ 0 4 7 - 3 6 2 - 2 0 5 0

(別紙.新収蔵資料)



「政権を朝廷ニ奉歸建白写」慶応3年 戸定歴史館蔵



「1867年万国博覧会記念品 万国博覧会における皇帝・国王ら訪問客」1867年 戸定歴史館蔵